

日 時	令和 7 年 4 月 24 日（木） 10:00～10:45 第 1 回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策経営局長、財政局長、市民局長、港南区長
欠席者	佐藤副市長、総務局長、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局長
議 題	1 パシフィコ横浜第 1 期大規模改修等に係る本市の支援について【にぎわいスポーツ文化局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル MICE 都市として横浜が選ばれ続けるため、本市 MICE 施策推進の中核を担うパシフィコ横浜（以下、本施設）の第 1 期大規模改修の完了に向けて、必要な支援を行う。 ・ 令和 9 年度以降の経営支援について、土地の減額貸付けや市直接貸付金の一部返済猶予等を調整する。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本施設は開業以来、本市の MICE 施策を推進するための中核的施設として、市内経済波及効果の創出やグローバル MICE 都市としてのブランド力向上に大きく貢献してきた。 ・ 本施設は、大規模施設の老朽化が進み、平成 26 年から第 1 期大規模改修を実施しているが、建設コストの高騰などの影響を大きく受け、今後多額の改修費用が見込まれる。加えてコロナ禍による資金繰り悪化の影響もあり、本施設の経営努力のみでは大規模改修の実施が困難な状況であり、本市の適切な支援が必要。 ・ 建設当時に市がマリノロビー建設費相当額を元利補助した経緯を踏まえ、マリノロビーを含む国立大ホールの改修費の 1/2 相当を支援額の上限とする。 ・ あわせて令和 9 年度以降の経営支援について、土地の減額貸付けや市直接貸付金の一部返済猶予等を調整する。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の（株）横浜国際平和会議場（以下、PCP）の外郭団体協約の見直しは所管局がしっかりと議論に加わること。PCP の中期経営計画や経営戦略等の策定についても、今後の MICE 事業の在り方も含め、連携して検討すること。 ・ PCP は、長期的な視点での経営戦略・計画を策定し、引き続き日本のトップの MICE 施設であり続けられるよう経営努力を行うこと。 ・ 支援に当たり、工事内容や運営経費の精査、収支実績の詳細、更なる今後の経営努力・指標等を確認し、それらを反映した収支見通しを踏まえて継続して協議を行うこと。 ・ 第 2 期大規模改修を含めた今後の経営向上に向けた事業のあり方について、早急に協議を始めること。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光 MICE 戦略で定める多様な財源確保について幅広い視点で検討すること。 ・ 他都市の施設が公設民営の方式をとる中、第 2 期大規模改修に向け、現事業スキームを維持するのを含め、幅広く検討すること。 <p>【結論】 <u>主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。</u></p>
--	--